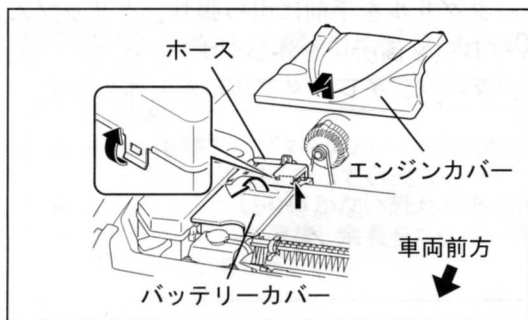


## 1. 車両部品の取外し

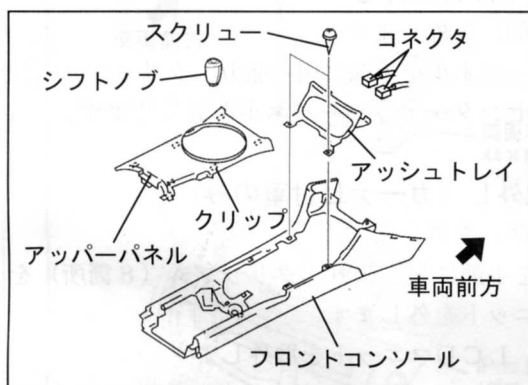


### バッテリーカバーの取外し

1. エンジンカバーを取外します。
2. ホースをバッテリーカバーから取外します。
3. エンジンカバーを後方から持ち上げて取外します。

#### ⚠ 警告

- 作業中のショート事故による部品損傷や感電、ケガの原因となるため、バッテリーの（－）ターミナルを切り離し、端子がふれないように十分注意してください。

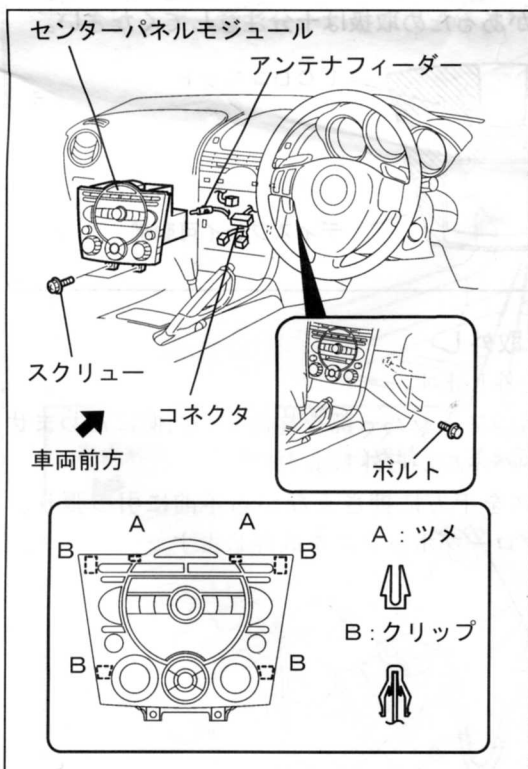


### アッパーパネルとアッシュトレイの取外し

1. シフトノブを外します。
2. テープを巻いたマイナスドライバーを使用して、アッパーパネルのクリップ（7箇所）を外し、フロントコンソールからアッパーパネルを取外します。
3. アッシュトレイのスクリュー（2個）を外します。
4. コネクタを切り離してフロントコンソールからアッシュトレイを取外します。

#### ⚠ 注意

- シフトノブにイルミネーションが付いている車両は、取外し手順が異なります。取外す際はシフトノブ（イルミネーション）の取付要領書を参考にしてください。



### センターパネルモジュールの取外し

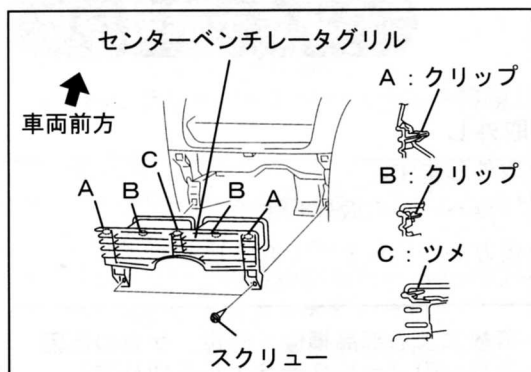
#### ⚠ 注意

- センターパネルモジュールは特殊塗装を保護するため、作業時に綿手袋を使用してください。
- 塗装面が汚れたときは、やわらかい布などでふき取ってください。

1. 図に示す位置のボルト（1個）を外します。
2. センターパネルモジュール下側のスクリュー（2個）を外します。
3. センターパネルモジュールを手前に引っ張りツメA（2箇所）、クリップB（4箇所）を外します。
4. コネクタとアンテナフィーダーを外し、センターパネルモジュールを取外します。

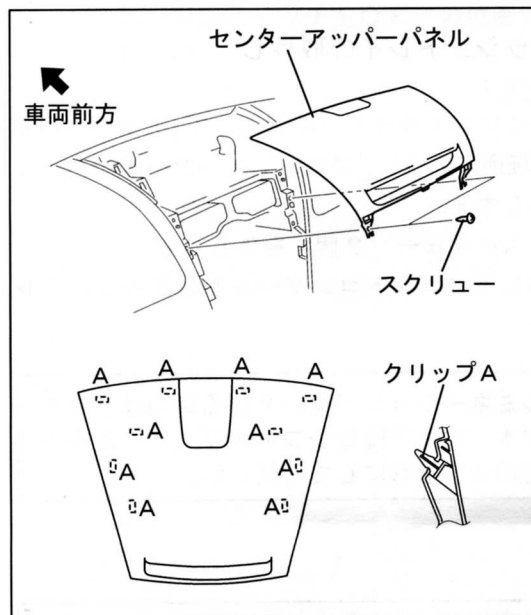
#### 参考

- コネクタとアンテナフィーダーは、センターベンチレータグリルを外した後、取り外しを行ってください。



### センターベンチレータグリルの取外し

1. スクリュー（2個）を外します。
2. センターベンチレータグリルを手前に引っ張り、クリップA（2箇所）、クリップB（2箇所）を外します。
3. ツメCを外し、センターベンチレータグリルを取外します。



### センターアッパーパネルの取外し

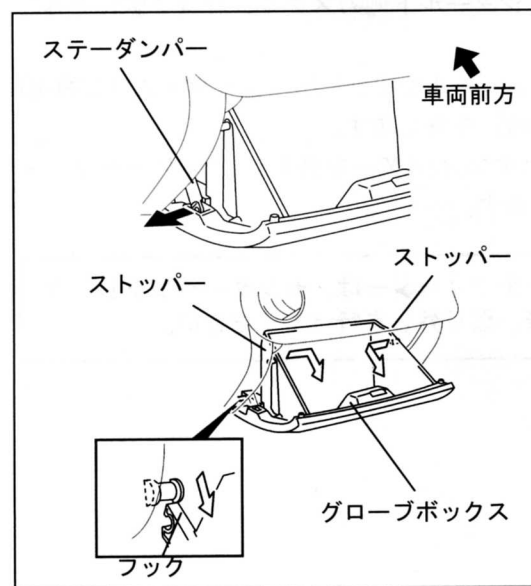
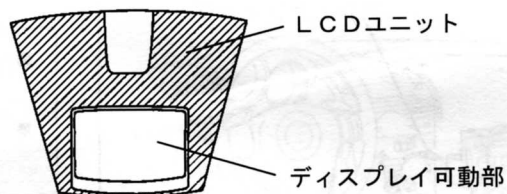
1. スクリュー（2個）を外します。
2. センターアッパーパネルを手前に引っ張り、クリップA（10箇所）を外し、センターアッパーパネルを取外します。

### LCDユニットの取外し（カーナビ付車のみ）

1. スクリュー（2個）を外します。
2. LCDユニットを手前に引っ張り、クリップA（8箇所）を外し、LCDユニットを外します。
3. コネクタを外し、LCDユニットを取外します。

#### △注意

- ディスプレイ可動部を押さえて取付けたり衝撃を与えると、内部の開閉用ギヤがずれディスプレイの開閉に問題が発生するおそれがあるため取扱は十分注意してください。



### グローブボックスの取外し

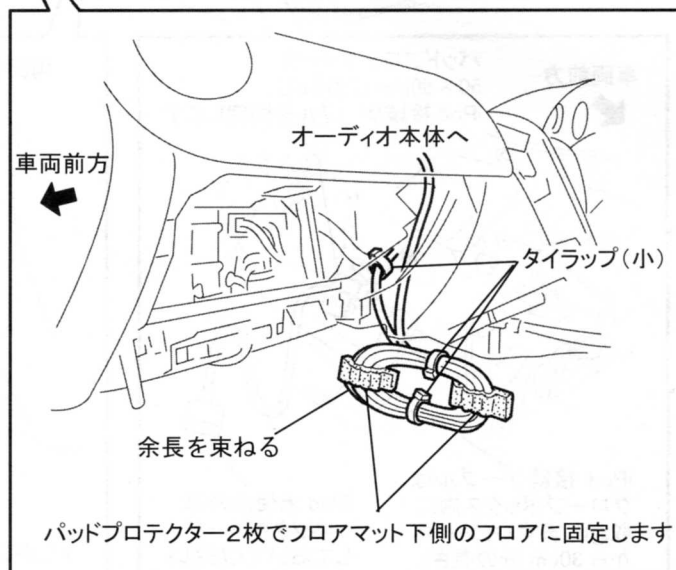
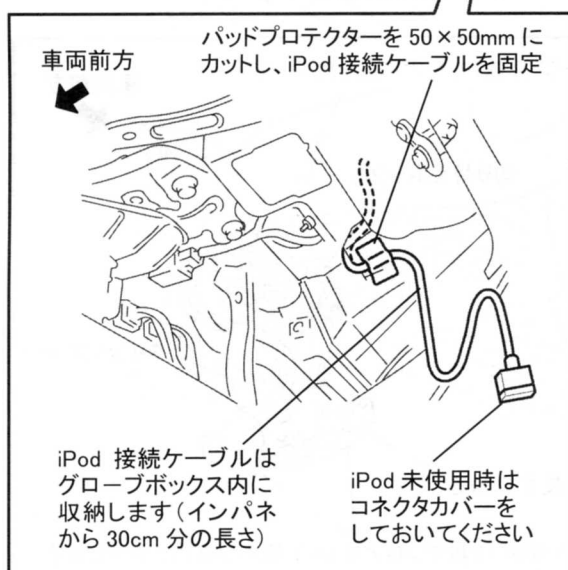
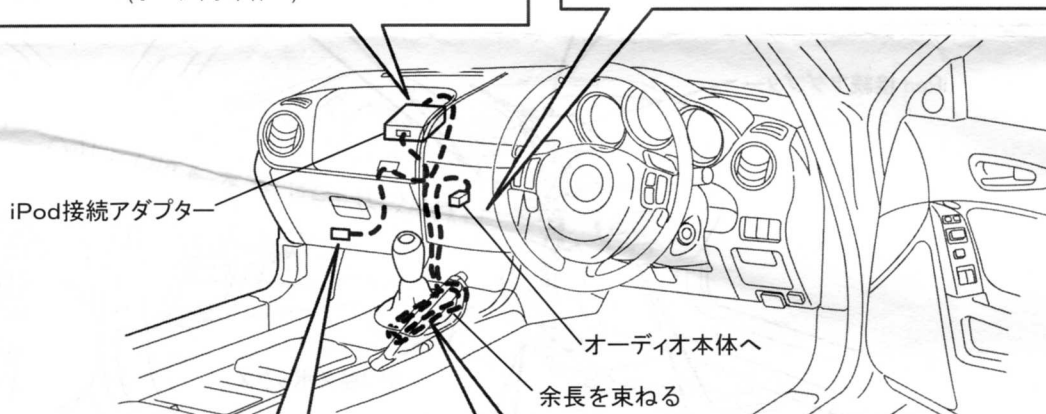
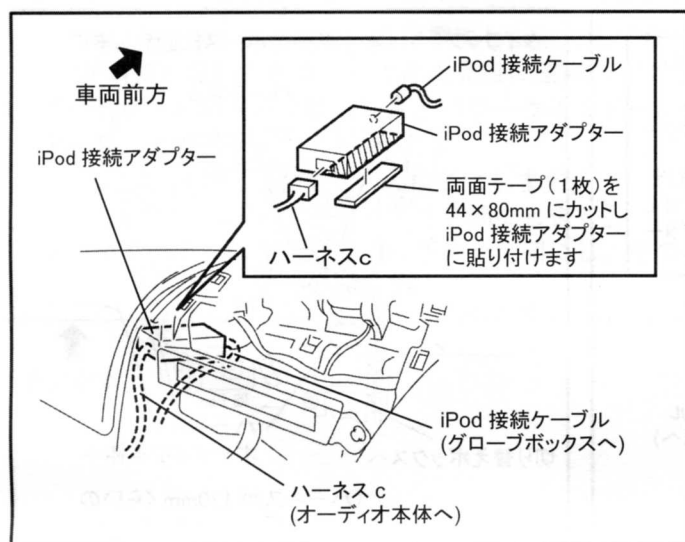
1. ステアダンパーを外します。
2. グローブボックスのストッパー部を片側ずつ内側にたわませ、インストルメントパネルから外します。
3. グローブボックスを下方に押さえながら手前に引っ張り、フックを外してグローブボックスを取外します。

## 2. 車両への取付け及び配線要領

### 配線要領 <iPod 接続アダプターのみの取付>（AUX 端子無車 又は カーナビ無車）

#### △注意

- iPod 接続アダプターのハーネスの断線およびショートのある恐れがあるため、車両板金のエッジやバリ部を避けてハーネスの処理を行ってください。
- 両面テープが貼り付かない恐れがあるため、両面テープ貼り付け部は必ず脱脂してください。
- タイラップは、固定後、余長をニッパー等で切り取ってください。他部品との干渉による故障、ビビリ音等が発生する恐れがあります。



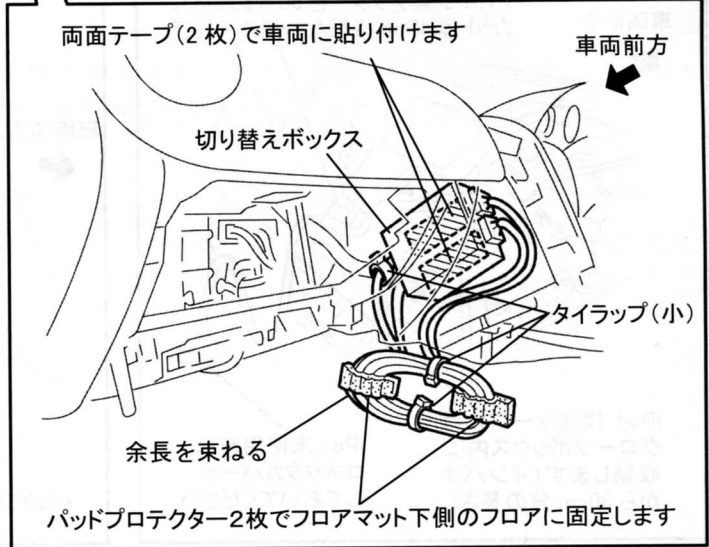
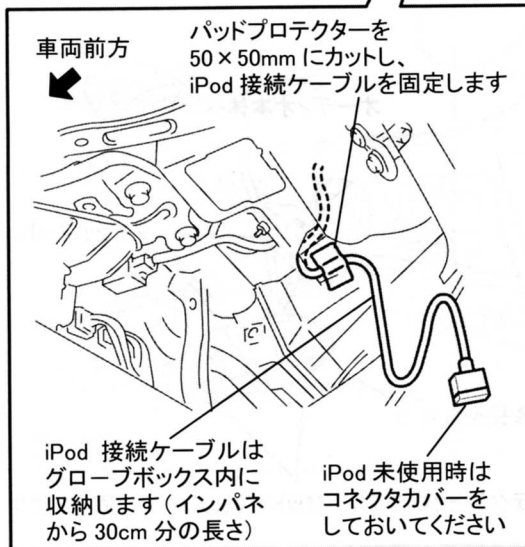
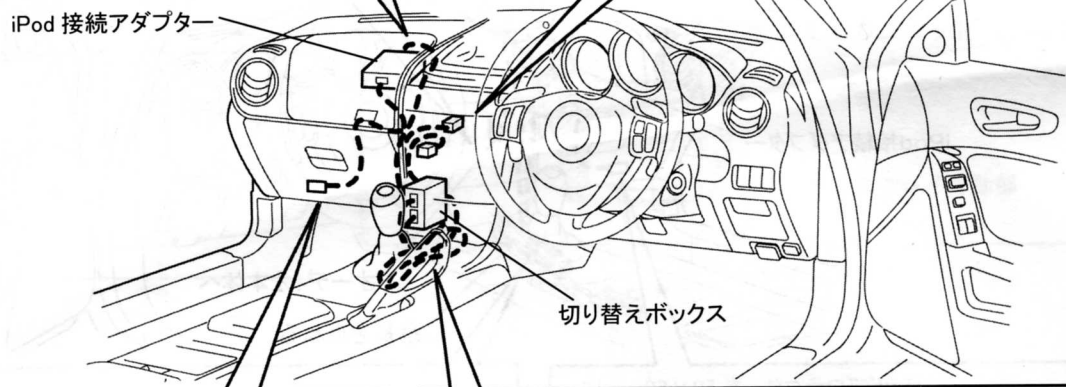
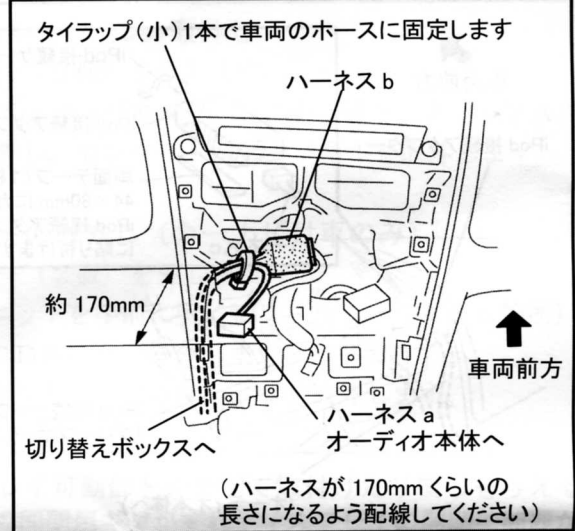
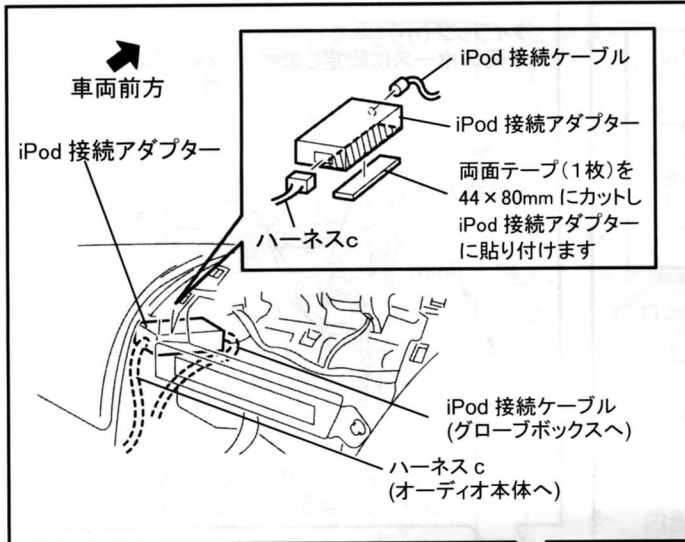
配線要領

＜iPod 接続アダプターと切り替えボックスの取付＞（AUX 端子付車 又は カーナビ\*<sup>1</sup> 付車）

\*<sup>1</sup> メーカーオプション DVD ナビ 又はディーラーオプション HDD ナビ

⚠ 注意

- iPod 接続アダプターのハーネスの断線およびショートのある恐れがあるため、車両板金のエッジやバリ部を避けてハーネスの処理を行ってください。
- 両面テープが貼り付かない恐れがあるため、両面テープ貼り付け部は必ず脱脂してください。
- タイラップは、固定後、余長をニッパー等で切り取ってください。他部品との干渉による故障、ビビリ音等が発生する恐れがあります。



### 3. 接続チェック

#### ⚠注意

- バッテリーとの接続が断たれるとDSC表示灯が作動しなくなります。  
（このときDSC OFF表示灯が点滅し、TCS/DSC作動表示灯が点灯します）  
DSCを作動可能な状態にするために、次の操作を行ってください。
  1. エンジンスイッチをONの位置にします。
  2. ハンドルを右いっぱいまで回し、その後左いっぱいまで回します。
  3. DSC OFF表示灯が消灯することを確認します。
  4. エンジンスイッチをOFFの位置にし、再度ONの位置にします。
  5. TCS/DSC作動表示灯が消灯することを確認します。  
エンジンスイッチをONの位置にした後でもTCS/DSC作動表示灯およびDSC OFF表示灯が消灯しないときは、マツダ販売店に連絡してください。
- バッテリーとの接続が断たれるとパワーウィンドーが自動で全開全閉できなくなります。  
次の操作で復旧させてください。
  1. エンジンスイッチをONの位置にします。
  2. スイッチを押して窓ガラスを全開にします。
  3. スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き上げつづけます。